※本安全性要約書は 2014 年時点の情報に基づき作成されています。それ以降に安全性情報が更新されている場合がございますので、最新の情報につきましては本製品の購入先経由で SDS を入手してご確認ください。

作成:2014 年 2 月 17 日

三井化学

GPS 安全性要約書

ヘキシレングリコール

この GPS 安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み (GPS : Global Product Strategy) に基づいて、弊社が製造する化学製品の安全な取り扱いに関する概要を提供することを目的としています。 ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。

記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、品質など、いかなる保証をするものではありません。

1. 物質の特定 (Chemical statement)

物質の特定	説明
三井化学の製品名	ヘキシレングリコール
化学名 (別名)	IUPAC 名: 2-メチル-2,4-ペンタンジオール、2-methyl pentane-2,4-diol
濃度 (%)	≧ 99
CAS 番号	107-41-5
分子式	$C_6H_{14}O_2$
構造式	$(CH_3)_2C(OH)CH_2CH(OH)CH_3$
官報公示整理番号	化審法: (2)-240 安衛法 : 既存

2. 物質の概要 (General statement)

ヘキシレングリコール は、無色透明の液体です。 臭いはほとんどありません。 水と混和します。

ヘキシレングリコールの一般的用途にはクリーニング用洗剤、切削油、木材防腐剤、溶剤、浸透剤、軟化剤 などがあります。

ヘキシレングリコールは目に対し強い刺激があります。 単回暴露でも呼吸器へ刺激を与

える恐れがあります。 また、麻酔作用により、眠気又はめまいを起こす恐れがあります。

ヘキシレングリコールが水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いです。 生分解されません。 生体内に蓄積する可能性は低いと考えられます。

作業者がヘキシレングリコールを使用する際に、ミストや蒸気が発生する場合は、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。 ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による作業中のどの時点においても越えてはならない値 (Ceiling) は 25 ppm ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。 作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクを着用して下さい。 吸収缶は有機ガス用のものを推奨します。 また、ミストの発生が懸念される場合には、有機ガス用で、かつミストを防ぐフィルタ機能を有するものを推奨します。 さらに高い作業環境濃度が想定される場合には、送気マスクや自給式呼吸器の装着を考慮して下さい。 付着すると皮膚から吸収されますので、皮膚を露出しないようにして下さい。

ヘキシレングリコールには、消費者用途が無いため、一般消費者へのばく露の可能性はきわめて低いと予想されます。

環境への影響を最小化するために、ヘキシレングリコールまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川、水路、下水溝などに流さないで下さい。

3. 製品情報 (Product information)

三井化学のヘキシレングリコールは、香料、塗料、農薬、化粧品などに使用されています。

(出典 : nite 暴露情報 http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/ComprehensiveInfoDisplay_jp.faces)

この製品に関する詳しい情報については以下にお尋ね下さい。

三井化学株式会社 https://www.mitsuichem.com/contact/safety/

4. 物理化学的特性 (Physical / Chemical properties)

ヘキシレングリコール は、無色透明の液体です。 臭いはほとんどありません。 水と混和します。

特性	説明
外観	液体
色	無色透明
臭い	ほとんど無臭
pH	知見なし
融点	- 50 ℃
沸点	198 ℃
引火点	96 ℃ (通常の温度範囲では引火しない)

発火点	306 ℃ (通常の温度では発火しない)
蒸気圧	6.7 Pa (20 ℃)　　(弱い揮発性がある)
比重	0.92 (水より軽い)
水溶解性	1.00 × 10^6 mg/ℓ (水に混和する)

5. ヒト健康影響 (Health effect)

ヘキシレングリコールは目に対し強い刺激があります。 単回暴露でも呼吸器へ刺激を与える恐れがあります。 また、麻酔作用により、眠気又はめまいを起こす恐れがあります。

影響	説明
急性毒性 (経口) (経皮)	飲み込んだ場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます 皮膚に接触した場合に有害な影響が生じる可能性は低いと予想されます
皮膚腐食性・刺激性	皮膚への刺激が生じる可能性は低いと予想されます
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	眼に対し強い刺激があります
感作性 (呼吸器) (皮膚)	知見がありません アレルギー性皮膚反応を起こす可能性は低いと予想されます
生殖細胞変異原性	知見がありません
発がん性	知見がありません
生殖毒性	生殖能又は胎児へ悪影響を及ぼす可能性は低いと予想されます
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	単回暴露でも、呼吸器へ刺激を与える恐れがあります 麻酔作用により、眠気又はめまいを起こす恐れがあります

6. 環境影響 (Environmental effect)

ヘキシレングリコールが水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いです。 生分解されません。 生体内に蓄積する可能性は低いと考えられます。

環境有害性	説明
水生環境有害性	水棲生物に対して有害性を及ぼす可能性は低いです
大気環境有害性	知見がありません

環境中の運命・挙動	説明
環境中の移行性	環境中では主に水に分布し、土壌には吸着されにくいと予想されます*

生分解性	生分解されません**
生物蓄積性	生体内に蓄積する可能性は低いと考えられます**

*: OECD SIDS

HEXYLENE GLYCOL

UNEP PUBLICATIONS 1 FOREWORD INTRODUCTION; HEXYLENE GLYCOL; CAS N°: 107-41-5

**: Ⅶ. SIDS 初期評価プロファイル

Screening Information Data Set for High Volume Chemicals OECD Initial Assessment

7. 推奨するリスク管理措置(Risk management recommendations)

ヘキシレングリコール を使用する際には、SDS または取扱説明書に従い、以下のリスク管理措置をとることを推奨します。 これらリスク管理措置をとることで、作業者および環境のヘキシレングリコールに対するリスクは管理できると考えられます。

対象	リスク管理措置
作業者	・ミストや蒸気が発生する場合は、局所排気装置を設置するなどして、十分に換気を行って下さい。 ACGIH (米国産業衛生専門家会議) による作業中のどの時点においても越えてはならない値 (Ceiling) は 25 ppm ですので、これを下回るよう管理・制御して下さい。 作業環境濃度が高い場合は、防毒マスクを着用して下さい。 吸収缶は有機ガス用のものを推奨します。 また、ミストの発生が懸念される場合には、有機ガス用で、かつミストを防ぐフィルタ機能を有するものを推奨します。 さらに高い作業環境濃度が想定される場合には、送気マスクや自給式呼吸器の装着を考慮して下さい。 ・付着すると皮膚から吸収されますので、皮膚を露出しないようにして下さい。 ・作業管理者は作業者に対し、適切な保護具の選択および使用方法、また作業場の管理方法を教育して下さい ・取り扱い場所の近くに目及び身体の洗浄装置を設置して下さい
消費者	ヘキシレングリコールには、消費者用途が無いため、一般消費者へのばく露の可能性はきわめて低いと予想されます。
環境	・製造および加工の過程では、排気・排水設備を設置し、定期的な設備の保守点検を実施して下さい ・ヘキシレングリコールまたはこれを含む製品および製品の残留物を河川や水路、下水溝などに流さないで下さい ・漏洩防止対策をして下さい

8. 発行・改定日 (Date of issue / Revision)

2014 年 3 月 4 日発行

弊社ホームページにて、最新の GPS 安全性要約書であることをご確認下さい。

http://www.mitsuichem.com/ps/index.htm

(注 1) GHS 分類: Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals

世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム。

「物質および混合物の分類、表示および包装 (CLP) に関する欧州議会および理事会規則 (EC (No) 1272/2008 annex IV)」に従った分類を採用した。

http://echa.europa.eu/web/guest/information-on-chemicals/registered-substances

作成/改定日	項目	改定箇所	引用 SDS 発行日	版
2014/2/17			2012/3/22	1

GPS 安全性要約書は、ヒト健康や環境への影響あるいはリスク評価の詳細、法規制情報や分類・ラベル情報等の専門的な情報を提供するものではありません。 また、弊社が発行する安全データシート (SDS) に代わるものではありません。 本製品のお取り扱いに際しては、弊社が発行する SDS をご確認下さい。